

11月9日～15日

秋の火災予防運動

『家族が安全で安心して

暮らせるために』

令和6年度防火標語

「守りたい 未来があるから 火の用心」

家庭の皆さんにお願い

☆ 住宅火災はこんなに多い

* 令和5年中、全国でおよそ3万9千件の火災が発生し、
半数以上のおよそ2万件が建物火災（住宅、工場など）でした。

☆ 家族を火災から守るために

* 昨年、住宅火災によってお亡くなりになった方は977人。
そのうち、65歳以上の高齢者が727人と74%を占めています。
高齢者の方は避難に時間がかかり、火災の被害にあう可能性が
高いため、住宅内で火災を発見した場合は避難を優先してください。

南但消防本部からのお願い

住宅用火災警報器は10年を目安に本体をとりかえましょう。



住宅火災によって亡くなる方の多くは、逃げ遅れによるものです。

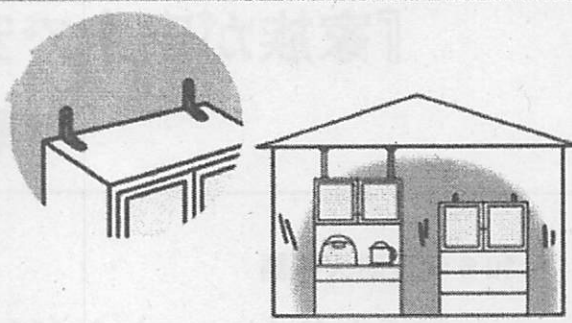
火災を早く発見し、早く避難するために住宅用火災警報器を設置しましょう。

地震火災対策きちんと出来ていますか？

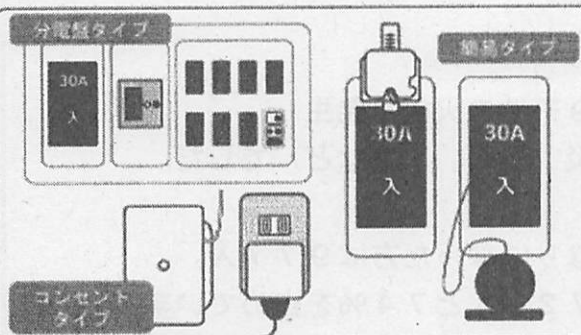
☐ 住宅用消火器等を設置し
使用方法について確認しましょう



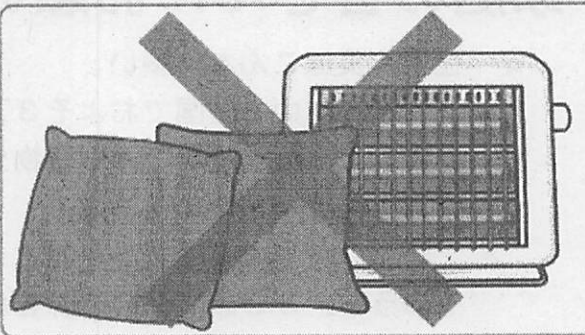
☐ 家具等の転倒防止対策（固定）を
行いましょう



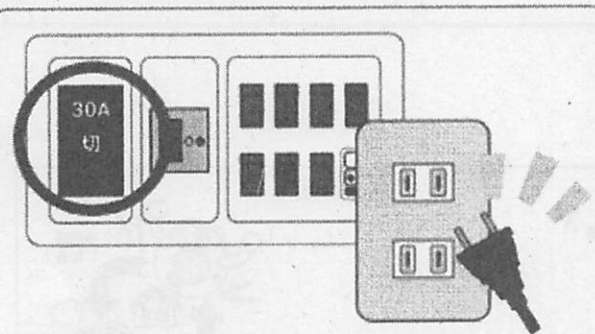
☐ 感震ブレーカーを設置しましょう



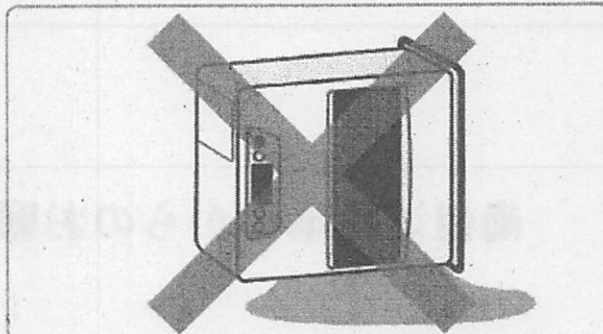
☐ ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、
可燃物を近くに置かないようにしましょう



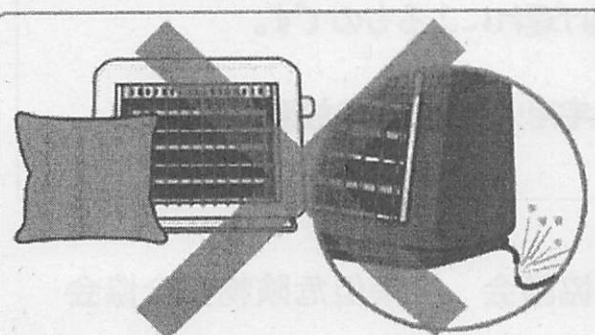
☐ 停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、
電源プラグをコンセントから抜きましょう
避難するときはブレーカーを落としてしましう



☐ 石油ストーブや石油ファンヒーターからの
油漏れの有無を確認しましょう



☐ ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開
するときは、機器に破損がないこと、近くに
燃えやすいものがないことを確認しましょう



☐ 再通电後は、しばらく電気器具に異常が
ないか注意を払いましょう（煙、におい）

